

みやぎのだより

No. 144

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和7年1月24日



仙南婦人部研修会(写真上)・栗原婦人部研修会(写真左下)・登米婦人部研修会(写真右下)

CONTENTS

新年のご挨拶	1	婦人部仙台支部収穫体験会開催について	6
令和6年度青年部交流会開催について	3	酪農傷害共済制度の補償内容の変更について (お知らせ)	7
登米支部研修会開催について	3	酪農後継者等育成支援	8
青年部登米支部研修会開催について	4	飼料情勢	9
フラワーアレンジメント教室開催について	4	令和6年度生乳生産実績	10
婦人部仙南支部講習会開催について	5	人事のお知らせ	10
東北酪農青年女性会議の秋季研修会 開催について	5	理事会通信	10
婦人部栗原支部研修会開催について	6	牛乳・乳製品を利用したレシピ紹介	11
		編集後記	11

新年のご挨拶



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

伊藤 一成

あけましておめでとうございます。

謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

令和6年の年頭にあたり、組合員、関係者の皆さまから旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対し厚くお礼を申し上げます。

去年は元旦に石川県能登半島地震が発生し多難な年明けとなり、大雨や台風などの自然災害や、鳥インフルエンザなどの影響で、甚大な農業被害が発生いたしました。被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興を願っております。

酪農を取り巻く情勢は、過去最高の水準で高止まりしている輸入飼料などのコスト増や牛乳・乳製品の消費減退などの影響で、酪農経営環境は依然として厳しい状況が続き、酪農家の離農に歯止めがかからず、酪農基盤が衰退しております。

また、昨年5月には改正食料・農業・基本法と食料安保関連法が成立し、一応、食料安全保障の外枠が固まり、畜産酪農では今後10年の酪農・乳業の道標となる「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための計画」（酪肉近）の見直しに向けた本格的な議論がなされております。今回の焦点はなんといっても2030年を目標年度として定められている現行の生乳生産目標780万トンの扱いであります。次期酪肉近では酪農家の営農意欲を駆り立て持続的な酪農乳業の発展のためにも生乳需要の確実な増加を最大限反映することを前提に、生産目標が設定されることを期待しています。

昨今の国際的な食料需給の逼迫などの国際情勢を踏まえ、食料安全保障の重要性を改めて実感しており、私たちが携わっている酪農分野もなくてはならないこの国の基幹産業であります。



安全で良質な生乳を安定的に供給するという社会的貢献を担うためには、生産基盤の維持拡大や牛乳乳製品の販売力強化とともに、国産の牛乳乳製品の重要性について国民的な理解を得られるよう働きかけを行うなど、理解醸成を進めることが、酪農乳業が持つ社会的価値を高め、ひいては産業全体の持続的な発展につながるものと考えます。

さて、私ども協同組合組織の存在意義と使命は、組合員の皆さまの営農継続と地域振興であります。まずは組合員の皆さまの視点で物事を見て、考え、決断し実行することがもっとも大切であり、特に持続可能な酪農の実現のためには、消費者の信頼や環境に配慮しつつ、次世代へより良い未来を引き継いでいく責任があります。次世代の酪農家を育成し、安心して働ける環境の整備と生乳生産基盤の強化が最優先課題であり、そして酪農という生命産業に携わっているという責任感と自負心を持ち、「食と農を基軸とした地域に根ざした酪農組合」として、経営の健全性を確保し、協同組合としての役割の発揮に取り組んでまいります。

時代が大きく変化する今、変化ばかりに目を奪われがちですが、このようなときこそ、潮流をしっかりと捉え、多様なニーズに対応しながら、未来志向でさらに各種事業を発展させるよう取り組んでまいりますので、皆さまのより一層のご指導とご鞭撻をお願いいたします。

本年が皆さまにとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。



令和 6 年度青年部交流会開催について

生産支援課

11月5日(火)、仙台市ホテルメトロポリタン「セレンティ」にて、青年部支部再編に向けて親睦を図るための交流会を、支部担当職員も参加し開催しました。

交流会は、ビュッフェスタイルでのランチという非日常的な雰囲気の中で、美味しい料理を味わいながら酪農に関することやプライベートな話題など積極的にコミュニケーションを取り、親睦を深めることができました。

和やかな雰囲気の中で新たなつながりも生まれ、楽しい時間を過ごしました。



登米支部研修会開催について

登米事業所

12月6日(金)、あいにくの雨模様の中、組合員7名の参加のもと登米支部視察研修会を哺育センターにて開催しました。

哺育センター佐藤所長より、施設概要、哺育方法、育成牛の管理などの説明があった後、実際に哺育舎と育成舎を回り、参加者からは入牧から下牧までのマニュアルに沿った管理方法や哺育牛へのミルク給与方法に関する事など質問が多数ありました。

研修会后、モーランド本吉にて焼肉を堪能しながら相互の交流を図り、有意義な時間を過ごすことができました。



青年部登米支部研修会開催について

登米事業所

12月18日(水)、登米市迫町の「鳥将」にて、部員8名参加のもと、講師に全酪連仙台支所の佐藤晃一氏をお招きし、「飼料情勢」をテーマに配合飼料及び輸入粗飼料価格の推移や原料情勢と牧草の施肥管理について講演していただきました。

牧草の施肥管理について、施肥の一部を堆肥に置き換えた場合、カリ成分を抑えることで、堆肥を多用投入した土壌の基肥として使用できる資材の紹介があり、部員の皆さんは大変興味を示していました。

研修会後は懇親会を開催し、酪農に関する情報交換など交流を図りました。



フラワーアレンジメント教室開催について

登米事業所

12月26日(木)、婦人部本吉支部は支部活動の一環として、南三陸町の「小野花匠園」にて、フラワーアレンジメント教室を開催しました。

縁起の良い「松」、「mam」、「葉ボタン」などの花材を使い、良い1年を迎えられるようお願いを込めてアレンジメントし、お互いに生けた花を鑑賞しながらの交流を図り、有意義な活動となりました。



婦人部仙南支部講習会開催について

仙南支所

11月6日(水)、仙南支所を会場に、婦人部仙南支部主催の冬の寄せ植え講習会を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、穏やかな日差しのもとで、講師に、「花のさとう」の佐藤直樹氏をお招きし、講師の説明を一通り受けた後、クリスマスやお正月にぴったりの寄せ植えを手際よく作業を進め、個性溢れる見事な寄せ植えを完成させ、その出来栄に喜びの声が上がり、参加者の皆さんにとって充実した時間となりました。

また、講習会終了後には、牛をモチーフにしたデザインのパッケージに包まれたシュークリームがお土産として配られ、参加者に大変好評でした。



東北酪農青年女性会議の秋季研修会開催について

仙南支所

11月19日(火)、山形県上山市の「ホテル古窯」にて、東北酪農青年女性会議の秋季研修会が開催されました。宮城、福島、山形、岩手の各県から酪農家が集まり、交流を深めながら学び合う機会となりました。

研修会は2部構成で行われ、第1部では、「ゲームを通して考える共感のコミュニケーション」と題し、全酪連の丹戸靖氏が講演しました。参加者たちは5～6人のグループに分かれ、最小限の打ち合わせ時間と新聞紙を使って高さのある構造物を作るゲームに挑戦。この体験を通して、コミュニケーションの難しさや重要性について深く学ぶ機会となりました。

第2部では、各県の酪農家によるパネルディスカッションが行われました。当組合からは小峯真喜青年部長がパネラーとして参加し、「就農のきっかけ」や「ストレス解消法」、「10年後の自分の姿」といったテーマについて語りました。その後、会場からの質問にも応え、活発な意見交換が行われました。会場全体が盛り上がり、熱気に包まれ充実した時間となりました。

研修会終了後には懇親会が催され、各県の参加者同士で親睦を深める貴重な時間となりました。



婦人部栗原支部研修会開催について

生産支援課

12月16日(月)、栗原市「中照越分館」にて、婦人部栗原支部では、「花カフェ花音」の大場育氏をお招きし、迎春用の花の寄せ植えの研修会を開催しました。

参加者の皆さんは、手慣れた手つきで作業を進め、和やかな雰囲気の中で楽しいひとときを過ごしました。

今回使用した花材は、南天、葉ボタン、フリルパンジー、アネモネなど多彩な種類で、特に南天は、厄除けや幸運を象徴する植物として、迎春にぴったりの輝きを放っており、色や形を考えながら思い思いの寄せ植えを楽しみました。

出来上がった作品は、個々の違った味わいがあり、各自の個性が光る素敵な作品に仕上がりと、参加者からは「自分の作品に愛着が湧いた」「来年もぜひ参加したい」といった声が寄せられました。

この研修会を通じて、花の魅力を再認識し、参加者同士の交流も深まる良い機会となりました。来年もまた、一緒に素敵な作品を作り上げることを楽しみにしています。



婦人部仙台支部収穫体験会開催について

仙南支所

11月22日(金)、婦人部仙台支部では部員とその家族が参加し、「せんだい農業園芸センターみどりの杜観光果樹園」でミニトマト・りんご狩り収穫体験会を開催しました。

ミニトマトの摘み取り体験では、11種類の一つひとつ違った味、食感を楽しみながら好みのトマトを見つけることができ、袋一杯に収穫することができました。

樹上で完熟したりんごは時期により異なります。今回は「ぐんま名月」という品種をじっくり悩んで選び抜いただけあって、蜜入りが良く果肉がしっかりとっていて満足のいくものを収穫することができ、美味しかったと大変好評でした。

また、収穫体験終了後に「レストラン開拓家」で交流会を行い、久しぶりに会えた方々もおり、話が弾み楽しいひとときを過ごすことができました。



酪農傷害共済制度の補償内容の変更について（お知らせ）

酪農共済制度の一つ「酪農傷害共済制度」はケガに備える共済で、ケガによる死亡・入院・通院をカバーします。今回はこの「酪農傷害共済制度」の補償内容が一部変更となりますので、お知らせします。

【日常生活賠償保険金額の引き上げ(令和7年3月1日より)】

酪農傷害共済は、「日常生活賠償」が付加されており、保険金額は加入コースに拘わらず一律200万円限度となっています。「日常生活賠償」は、一般的には個人賠償責任と言われているもので、日常生活に起因する偶然な事故等で法律上の責任を負う場合を補償するものです。

具体的には、「自転車で事故を起こして相手をケガさせた。」「お店の商品をうっかり壊してしまった。」といった事故が対象となります。

上記のケースで昨今、注目されているのが〈**自転車事故**〉です。事故を起こした場合、自動車であろうが、自転車であろうが同様の賠償責任を負うことになります。このことから、現在、ほとんどの都道府県の条例で自転車保険に加入することが義務付けられています。(宮城県も加入義務あり。)

酪農傷害共済は、この義務化に十分対応できる制度とするため、**令和7年3月1日より日常生活賠償保険金額を1億円に引き上げます。**

なお、**今回の変更により掛金が上がることはありません。**また既にご加入いただいている方についても、3月1日以降は自動的に前述の内容となります。

【酪農傷害共済の補償内容】

加入コース	A型	B型	C型
月 額 掛 金	2,000円	4,000円	6,000円
傷 害 死 亡 保 険 金 額	400万円	800万円	1,200万円
傷害後遺障害保険金額	16 ～ 400万円	35 ～ 800万円	48 ～ 1,200万円
傷害入院保険金(日額)	3,500円	7,000円	10,000円
傷害通院保険金(日額)	3,500円	5,500円	7,500円
傷 害 手 術 保 険 金	3・5・7・14万円	7・14・28万円	10・20・40万円
日常生活賠償保険金額	200万円限度	200万円限度	200万円限度



令和7年3月1日より1億円限度 にアップします！

酪農傷害共済のケガに対する補償は、ご加入いただいた被保険者のみが対象となりますが、前術の「日常生活賠償」については、その補償が右記の表のとおり、非常に広い範囲の方々が対象になります。酪農家であるご本人が加入されれば、所定のご家族の方(配偶者様、お子様など)が広くカバーされます。特によく自転車に乗られるお子様がいらっしゃるご家庭には強くお勧めいたします。

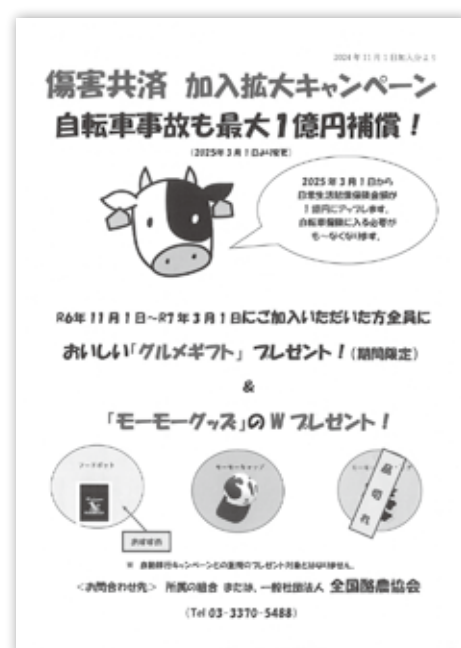
	本人	配偶者	その他の親族(※)
賠償責任保険金	○	○	○

※加入者本人またはその配偶者の同居の親族および別居の未婚のお子様をいいます。親族とは6親等以内の血族または3親等以内の姻族。未婚とはこれまでに婚姻歴がないこと。

3月1日までにご加入の方にはWプレゼントの特典がございます。



ご不明なことがありましたら、各事業所または酪農共済担当まで連絡をお願いします。



酪農後継者等育成支援

当組合では、後継者就農促進支援として就農祝金を贈呈しております。

令和6年度に就農された方をご紹介します。

【登米支部 柴田 敬悟さん】
(株式会社 柴田牧場)



北米コンテナ船情勢

北米産主流のチモシー、アルファルファ等の作柄は上級品の発生が中心となった一方で、豪州産のオーツヘイは中級品の発生が中心になりました。

価格については、為替相場が一時的に円高となり値下がりしましたが、再び11月から12月に円安に振れ値上がりに転じました。

北米西海岸では、港湾労働者の休暇などの影響から、主要な本船スケジュールは混乱しており、今後もしばらく続くと予想されております。

輸入粗飼料

①アルファルファ

ワシントン産は春先から好天に恵まれ一番刈り、二番刈りとも上級品の発生が中心となりました。三番刈りは山火事の影響で一部に色褪せが発生しています。輸出向けの需要停滞により相場は低迷しています。

オレゴン州クラマスFでは、一番刈り、二番刈りとも天候に恵まれ上級品の発生が中心となりました。三番刈りは一部中級品の発生があります。米国内の酪農家から成分の高い品質の買い付けが行われています。同州クリスマスバレーでも天候に恵まれ二番刈りで山火事の影響から一部色褪せの発生がありましたが、一番から三番刈りまで上級品の発生が多くなりました。

②チモシー

(US産)

主産地ワシントン州コロンビアベースン、エレンスバーグともに、一番刈りは春先の天候に恵まれ上級品の発生が中心となりました。二番刈りは降雨や山火事の影響から上級品の発生は限定的となりました。チモシーは他の草種と比較すると、馬糧やペット向けの販路があり価格体も高いことから25年産の作付面積は増えると予想されています。

(カナダ産)

南部レスブリッジ地区では、天候に恵まれたことから一番刈りは上級から中級品の発生が中心となりました。中部クレモナ地区では生育期間の降雨や高湿度の影響から中級品の発生が中心となりました。

③クレイングラス

24年産はDIP事業の実施により夏場の生産量は減少し、茎が固めで色褪せた品質が一部ありましたが、年間を通じて概ね良品の発生が中心となりました。

(DIP事業:インペリアルバレーにおいて、水不足から節水のため永年草の畑に水を入れず、給付金を受ける事業)

④豪州産オーツヘイ

西豪州地域の収穫量は昨年より増加しましたが、乾燥に時間を要し中級品の発生が中心になっております。

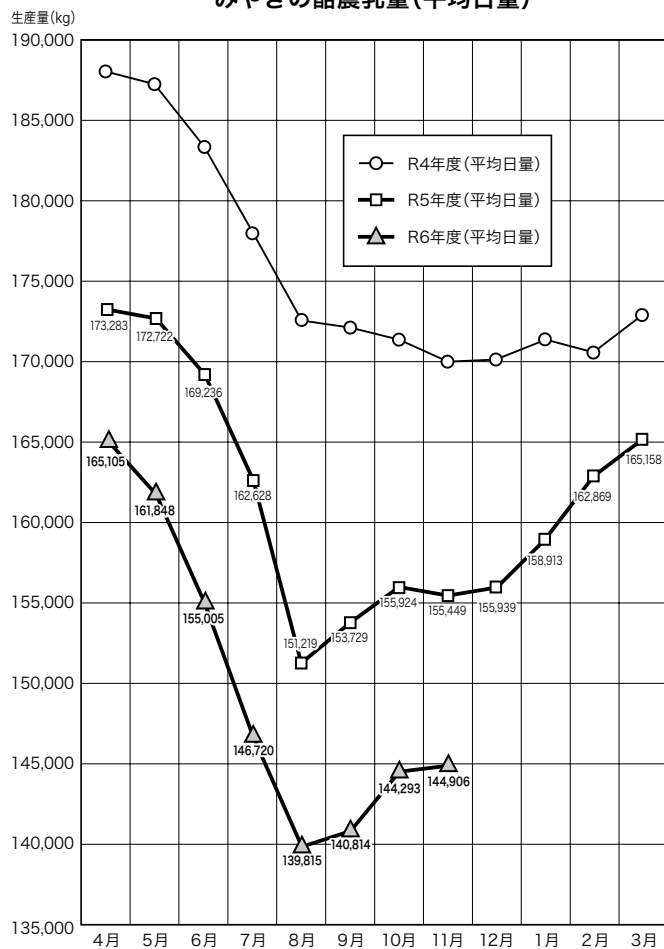
南豪州地域は生育中の降雨が少なく、乾燥した天候から収穫量は大幅に減少しております。放牧用牧草の生育不良から、輸出向けと国内向けの在庫確保が競合する可能性があり注視が必要です。

東豪州地域は生育中の降雨が少なく、乾燥した天候から収穫量は平年以下となりました。一部雨当たり品の発生がありましたが、上級～中級品の発生が中心となっております。

令和6年度生乳生産実績

生産支援課

みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和6年度生乳生産実績(4月～11月 標準進捗率66.85%)

(単位:戸、kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	21	5,683,151.5	5,578,107.9	101.88	8,292,152.0	68.54
蔵王支部	19	4,813,981.0	5,164,412.0	93.21	7,339,209.0	65.59
柴田支部	10	2,332,161.0	2,491,423.0	93.61	3,686,166.0	63.27
伊具支部	12	2,475,626.1	2,524,055.0	98.08	3,646,574.0	67.89
仙台支部	14	2,443,582.0	2,712,469.4	90.09	3,823,181.0	63.91
大崎支部	15	2,012,003.0	2,008,985.0	100.15	3,001,035.0	67.04
遠田支部	11	4,129,636.0	6,080,973.0	67.91	8,563,331.0	48.22
加美支部	6	1,005,663.0	1,081,451.0	92.99	1,483,483.0	67.79
鳴子支部	6	1,041,202.0	1,041,025.0	100.02	1,474,616.0	70.61
栗原支部	24	3,605,560.0	3,648,668.0	98.82	5,428,186.0	66.42
登米支部	22	4,450,419.0	4,448,466.0	100.04	6,571,317.0	67.72
本吉支部	9	779,235.0	762,439.0	102.20	1,146,821.0	67.95
石巻支部	3	225,253.0	286,438.0	78.64	418,908.0	53.77
豊里支部	10	1,550,421.0	1,639,249.0	94.58	2,425,021.0	63.93
合 計	182	36,547,893.6	39,468,161.3	92.60	57,300,000.0	63.78

人事のお知らせ

総務課

区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
有期職員	沼倉 久美	仙北集乳所販売係 (採用)	—	令和6年11月18日
正職員	野口 修	—	仙南集乳所長 (定年退職)	令和6年12月31日
正職員	富士野武志	—	生産支援課指導係 (退職)	令和6年12月31日
正職員	佐藤 正道	仙南集乳所長	仙南集乳所販売係	令和7年1月1日
有期職員	野口 修	仙南集乳所販売係 (定年退職者再雇用)	—	令和7年1月1日

理事会通信

総務課

【第8回理事会】

開催日 令和6年12月24日

付議事項 第1号議案 令和6年度上半期決算監査にかかる監事監査報告について



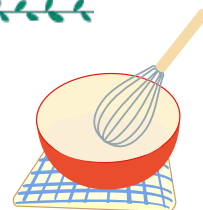
バスクチーズケーキ

I love milk recipe No.3



しっとり、濃厚！絶品チーズケーキ！

『みやぎのミルクレシピ』を通じて、牛乳・乳製品の消費拡大へ



材料:分量(15cm)

クリームチーズ……………200g
生クリーム……………200cc
卵……………2個
グラニュー糖……………50g
はちみつ……………15g
小麦粉……………10g

作り方

- ① クリームチーズをなめらかにします。
- ② グラニュー糖を加えます。
- ③ はちみつを加えます。
- ④ 小麦粉は茶こしなどでふるいながら少しずつ加えて混ぜ合わせます。
- ⑤ 裏ごしした卵を加えて混ぜます。
- ⑥ 生クリームを2～3回にわけ、少しずつ加えます。
- ⑦ 裏ごしをしながら型に流し込みます。
- ⑧ 220℃に予熱したオーブンで25～30分ほど焼きます。



[編集後記]

新年明けましておめでとうございます。今年の干支は乙巳（きのとみ）です。乙巳の年は再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していくと言われています。乙の意味するところは、木の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ち、自身の目標に向かって進んでいく力を表しているそうです。

皆さまにとって、持続可能な酪農経営に向けて、希望に満ちた明るい年になりますことをご祈念申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

発行 ……………

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)